

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第92号（通巻第159号）

2010年10月29日発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp  
[URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/](http://www.cer.yamanashi.ac.jp/)

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、変更しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

## ■ 後期ボランティアガイダンスのご報告

10月6日（水）・7（木）に、本学N-11・12教室で、後期ボランティアガイダンスが開催されました。

今回のガイダンスからは教育ボランティア学生運営委員会が運営を担当しました。特に、6日のガイダンスについては、受入先を2～3か所ごとにグループ化して6つのブースを作り、学生は興味のある受入先を選び、3つのグループの説明を聞くという方法に変更しました。

当日は、加藤教育ボランティア委員長の活動の意義等を含めた挨拶、嶋田ボランティア委員の概要説明に続き、13カ所の受け入れ先から丁寧な説明がありました。学生の皆さんはそれぞれの説明に熱心に聞き入っており、終了後も受入先に個人的に質問に行くという姿も見られました。参加者も152名と昨年度より増加し、この活動に対する学生の関心の高さを実感することができました。

今後も、教育ボランティア活動が、学生運営委員会を中心に、学生自身の手によって一層発展していくことを期待します。

なお、ガイダンスに参加した受入先は次のとおりです。

- ・甲府市教育委員会      ・甲斐市教育委員会      ・笛吹市教育委員会      ・甲府市立湯田小学校
- ・甲斐市立敷島小学校      ・南アルプス市立白根源小学校      ・南アルプス市立豊小学校
- ・南アルプス市立櫛形北小学校      ・韮崎市立穂坂小学校      ・昭和町立押原中学校
- ・山梨英和中学校      ・児童養護施設明生学園      ・本学附属特別支援学校



## ■日本教育大学協会 全国教育実習研究部門 総会・研究協議会及び研究集会報告

過日、島根県松江市内において開催された標記研究会に、本学部教育実習委員長の藤田孝夫教授と附属教育実践研究指導センターの成田雅博准教授が出席しました。

島根大学大学会館において、2010年10月15日(金)に開かれた平成22年度 日本教育大学協会 全国教育実習研究部門 第24回総会・研究協議会には、30大学・59名の教職員が参加し、教職大学院における教育実習のあり方、教員養成初期段階における教育臨床経験科目の実践、「教職実践演習」にむけた取り組み等の報告があり、総合協議においては、中央教育審議会でも取り上げられた母校実習の廃止・近隣協力校実習への切替に関わる実現可能性の検討、教育実習関連の附属学校教員の実態の情報交換、教員養成モデルコアカリキュラム・教員養成スタンダード等の研究成果をふまえた各大学での教員養成カリキュラムの実施状況、「教職実践演習」実施に向けた向けガイダンス・履修カルテ・ポートフォリオ等を活用した取り組み 状況及び教育実習生のメンタルヘルス関係の対応・支援体制について情報交換・協議が行われました。

島根県民会館及びサンラポーむらくもにおいて、2010年10月16日(土)に開かれた日本教育大学協会研究集会には、約200名の会員所属の教職員が参加しました。午前中の文部科学省大臣官房総括審議官の前川喜平氏による「教員養成制度改革の現在」と題する講演、「教員養成大学・学部に期待される役割」をテーマとする全体討議に引き続き、午後は、「教員養成カリキュラムの改革と実践の動向」「『教職大学院』における高々度専門職養成の動向」「附属学校の改革と実践の動向」「『教師になる』ということー学生からの『学び』の提言ー」「自由課題」の分科会ごとに、研究協議を行いました。

## ■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは、研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり、県教育委員会へ報告しております。お手数ですが、教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等、地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」にご記入いただく形で送信してください。ご協力よろしくお願いいたします。

## ■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、「日付・方法・相談対象・学年・性別・相談者・相談内容」をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけください。

報告用紙は、教育人間科学部総務グループ入口をに入って左手にあるレターケース(総務グループ提出

箱)の教育相談専用ボックス(青いラベルです)にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス(教育実践総合センター)にお入れください。

## ■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室(Y-304)をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては、事前に教育実践総合センター事務室(J号館4F)にて空き状況を確認の上、ご予約ください。鍵はセンター事務室にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

---

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.kjb.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見るができます。